

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |  |  |            |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 1    | 法人の理念は掲示しており、職員も周知しているが、どうしても医療面が重視されている。利用者のこれまでの生活を大切に、家庭的な生活を続けていく事を求めていくグループホームとしての理念を確立する必要がある。 | グループホームうえむら独自の理念を決定し、職員全員がその理念に沿って介護を行っていく。  | 職員一人ひとりが、自分たちの施設をどのようにしたいかを考え、意見交換する。話し合いの後、理念を決定し、その理念に沿った介護を実践していく。  | 1ヶ月        |
| 2        | 35   | 年2回の避難訓練計画を立て1回は実施し、今年度内に避難訓練をする予定は立てていたが、早急に夜間や火災以外の災害を想定した訓練や、地域と協力した訓練の実施が求められる。                  | 消防署の立会いの下、夜間を想定した避難訓練を実施する。その際は緊急通報装置を実際に使い、緊急連絡網をスムーズに使えるようにして訓練を行い、緊急時に備えられるようにする。 | 緊急通報設備の操作を確認。併設病院からの応援職員との打ち合わせ。それぞれの利用者に向けた避難誘導の仕方を職員で検討し、避難経路を確認する。訓練後は反省会を開き、改善事項を挙げて改善していく。また自治会へ訓練への協力の依頼も同時に行っていく。 | 3ヶ月        |
| 3        | 2    | 利用者が地域のみなさんとふれあう機会がなかなかなく、地域の一員として生活する場面がまだ少ない。  | 地域の方々とのふれあいの場を提供し、理念にも挙げている、「地域社会の一員としての暮らし」が持てるよう支援する。                              | 今後も地域の行事には積極的に参加する。また、気候が良い日には近所を散歩し、子供さんのいる家などに寄らせてもらい、子供たちと接したり、近所の方と世間話などができるように試みる。ボランティアの積極的な受け入れも検討したい。            | 6ヶ月        |
| 4        |      |  |  |  | ヶ月         |
| 5        |      |  |  |  | ヶ月         |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。